

注3

大学番号：065

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

国際医療福祉大学大学院薬学研究科

注2

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学

平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学院運営室

職名・氏名 課長 松島静夫

電話番号 03-6406-8621

（夜間） 03-6406-8621

F A X 03-6406-8622

e-mail smatsushima@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒324-8501
栃木県大田原市北金丸字上ノ原2600番1
〒107-0062
東京都港区南青山1-3-3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成6年12月21日)		
学長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月1日)		
大学院長	(カナザワ イチロウ) 金澤 一郎 (平成23年3月7日)		
研究科長	(タケダ ヒロシ) 武田 弘志 (平成22年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 医療・生命薬学専攻 (博士課程) 博士(薬学)	4年	5人	20人	基礎となる学部等 薬学部薬学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	5人 () []	0人 () []	5人 () []	0人 () []	5人 () []	0人 () []	1.30倍	
志願者数	() []	() []	(4) [-]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]		
受験者数	() []	() []	(4) [-]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]		
合格者数	() []	() []	(4) [-]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]		
B 入学者数	() []	() []	(4) [-]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]	(4) [1]	(0) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.40		1.20					

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して下さい。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にして下さい。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]	在学生のうち1名は当大学院の他研究科からの転科によるもの
			7	-	6	-	
2年次			[]	[]	[-]	[-]	
					7	-	
3年次					[]	[]	
計	[]	[]	[-]	[]	[1]	[]	
			7		13		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

2 授業科目の概要

<薬学研究科 医療・生命薬学専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人体病理学特論	1・2前		1							兼 1	
	統計学特論（基礎）	1・2前		2							兼 1	
	統計解析学特論（実践）	1・2後		2							兼 1	
		1・2後 未開講										通常開講(25)
	人体機能構造学特論	1・2後		2		1						履修希望者がいなかったため(24)
	疫学特論	1・2前		2		1						
		1・2後 未開講										学生への教育効果を考慮し
	臨床心理学特論	1・2前		2							兼 1	開講学期を変更(24)
		1・2後 未開講										履修希望者がいなかったため(25)
		1・2前		2		1					兼 1	学生への教育効果を考慮し
	1・2後		2							兼 1	開講学期を変更(24)	
専門科目	分子生物ゲノム学特論	1・2後		1		2						
		1・2・3・4後 未開講										学生への履修の便宜を図り、 配当年度を変更(24)
	レボリューションサイエンス特論	2・3・4後		1		2						履修希望者がいなかったため(25)
		未開講										履修希望者がいなかったため(24)
	毒性学特論	1・2・3後		1		1		2				通常開講(25)
		1・2・3後 未開講										履修希望者がいなかったため(24)
	基礎薬物治療学特論	1・2・3後		2		4	1					通常開講(25)
		2・3・4後 未開講										履修希望者がいなかったため(24)
	臨床薬物治療学特論	2・3・4後		2		1					兼 3	学生への履修の便宜を図り、 配当年度を変更(24)
		1・2・3・4後 未開講										学生への履修の便宜を図り、 配当年度を変更(24)
緩和医療薬学特論	3・4後		1		2	1					学生への履修の便宜を図り、 配当年度を変更(24)	
	1・2・3・4後 未開講										学生への履修の便宜を図り、 配当年度を変更(24)	
基礎腫瘍学特論	1・2後		1		2						兼任(1名)に伴う教員変更(25)	
	1・2・3・4後 未開講										学生への履修の便宜を図り、 配当年度を変更(24)	
臨床腫瘍学特論	3・4前		2		3					兼 2	兼任(1名)に伴う教員変更(25)	
	1・2・3・4後 未開講										学生への履修の便宜を図り、 配当年度を変更(24)	
基礎薬学総合特論	1・2前		2		2		4				兼任(1名)及び急逝(1名) に伴う教員変更(24)	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	166,067.48㎡	0㎡	0㎡	166,067.48㎡			
	運動場用地	76,402.74㎡	0㎡	0㎡	76,402.74㎡			
	小 計	242,470.22㎡	0㎡	0㎡	242,470.22㎡			
	そ の 他	118,539.00㎡	0㎡	0㎡	118,539.00㎡			
	合 計	496,693.00㎡	0㎡	0㎡	496,693.00㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		65,189.24㎡ (65,189.24 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	65,189.24㎡ (65,189.24 ㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		154室	37室	214室	4室 (補助職員 3人)	3室 (補助職員 3人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		薬学研究科			26 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	薬学研究科	16,000 [2,500] (20,283 [1,759])	2,600 [1,500] (4,411 [2,578])	2,400 [1,400] (4,160 [2,545])	800 (1,058)	6,800 (6,400)	170 (150)	
計	16,000 [2,500] (20,283 [1,759])	2,600 [1,500] (4,411 [2,578])	2,400 [1,400] (4,160 [2,545])	800 (1,058)	6,800 (6,400)	170 (150)		
(6) 図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数			
		5,100㎡		1,087	243,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		9,461㎡		弓道場、テニスコート6面、武道場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	800千円	800千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円
	共同研究費等	12,000千円	12,000千円	設備購入費	35,000千円	35,000千円	35,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		900千円	700千円	700千円	700千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」

を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人	人		倍		
保健医療学部							1.27		
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)		1.28	平成7年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)		1.29	平成7年度	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)		1.26	平成7年度	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)		1.24	平成7年度	
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療法学)		1.25	平成14年度	
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情報科学)		1.300	平成7年度	
医療福祉学部							1.16		
医療福祉・マネジメント学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)		1.16	平成21年度	
薬学部							1.02		
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)		1.02	平成18年度	

大学の名称	国際医療福祉大学(つづき)									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	取定学員	学位又は称号	定員超過率	開年	設年度	所在地	
小田原保健医療学部						1.25				
看護学科	4	50	-	200	学士(看護学)	1.15	平成18年度		神奈川県 小田原市城山 一丁目2番25号	
理学療法学科	4	40	-	160	学士(理学療法学)	1.37	平成18年度			
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.25	平成18年度			
福岡看護学部						1.28				
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.28	平成21年度		福岡市早良区百道浜1-7-4	
福岡保健医療学部						1.27				
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.16	平成17年度		福岡県大川市榎津137番地1号	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.21	平成17年度			
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚学)	1.13	平成19年度			
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)	1.47	平成25年度			

大学の名称	国際医療福祉大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限 年	入 定 学 員 人	編 入 学 員 年 次 人	取 定 容 員 人	学 位 又 は 称 号	定 員 超 過 率 倍	開 設 年 度	所 在 地	
医療福祉学研究科						1.15		栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学)、 修士 (看護学)、 修士 (医療福祉)、 修士 (診療情報管理学)、 修士 (医療ビジネス経営学)、 修士 (臨床心理学)	1.19	平成11年度		
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉)、 修士 (診療情報管理学)、 修士 (医療ビジネス経営学)、 修士 (臨床心理学)	0.87	平成13年度		
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度		
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学)、 博士 (看護学)、 博士 (助産学)、 博士 (医療福祉経営学)、 博士 (医療福祉学)、 博士 (診療情報管理学)、 博士 (医療福祉心理学)	1.24	平成13年度		

大学の名称	国際医療福祉大学大学院(つづき)							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
薬科学研究科 修士課程生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士(薬科学)	0.10 0.10	平成22年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1
薬学研究科 博士課程医療・生命薬科学専攻	4	5	-	20	博士(薬学)	1.30 1.30	平成24年度	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「-」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

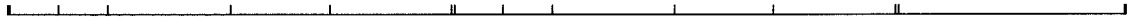
5 教員組織の状況

<薬学研究科 医療・生命薬学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

専任・兼任・兼任の別	認可時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (研究科長)	タケダ ヒロシ 武田 弘志 (58)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論 緩和医療薬学特論 医療・生命薬学特別研究					
専	教授	サトウ タクオ 佐藤 拓夫 (63)	<平成24年4月>	レギュラトリーサイエンス特論 応用薬学総合特論					
専	教授	アサヒ マリコ 旭 満里子 (62)	<平成24年4月>	臨床腫瘍学特論 臨床病院特別研修 医療・生命薬学特別研究					
専	教授	コンノ リュウイチ 金野 柳一 (62)	<平成24年4月>	分子生物ゲノム学特論 医療・生命薬学特別研究					
専	教授	オノ マチコ 尾能 満智子 (61)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究					研究指導補助
専	教授	ワタナベ トシコ 渡邊 敏子 (58)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究					
専	教授	オオタ ケイイチロウ 太田 恵一郎 (58)	<平成24年4月>	臨床腫瘍学特論 医療・生命薬学特別研究	兼任 准教授	吉田 昌(50)	<平成25年7月>	臨床腫瘍学特論	平成25年3月31日太田恵一郎教授 辞任のため学内教員にて補充。(25) 研究指導補助のため補充せず(25)
専	教授	クロサワ ミエコ 黒澤 美枝子 (56)	<平成24年4月>	人体機能構造学特論 基礎薬物治療学特論 医療・生命薬学特別研究					研究指導補助
専	教授	スナミ アキヒロ 角南 明彦 (53)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論 応用薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究					
専	教授	ハラ アキヨシ 原 明義 (53)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論 応用薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究					
専	教授	ヤマダ ハルミ 山田 治美 (52)	<平成24年4月>	臨床薬物治療学特論 臨床保険薬局特別研修 医療・生命薬学特別研究					

専	教授	シライシ マサヒコ 白石 昌彦 (52)	<平成24年4月>	分子生物ゲノム学特論 基礎腫瘍学特論 臨床腫瘍学特論						
専	教授	アサノ サトシ 浅野 哲 (52)	<平成24年4月>	毒性学特論 基礎腫瘍学特論 応用薬学総合特論						
専	教授	イケダ シュンヤ 池田 俊也 (49)	<平成24年4月>	疫学特論 医療経済評価特論 レギュラトリーサイエンス特論 応用薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究						
専	教授	アマノ タク 天野 託 (48)	<平成24年4月>	緩和医療薬学特論 応用薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究						
専	准教授	トクムラタダカズ 徳村 忠一 (55)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究	専	准教授	榑原 巖 (55)	<平成25年4月>	基礎薬学総合特論	平成25年3月31日榑原記 准教授(25)教育内容を調査調整し、科目内で担当者を変更(25) 履修希望者がいなかったため未開講(25)
専	准教授	サカキバライオ 榑原 巖 (54)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究						
専	准教授	ヨコヤマヒデアカツ 横山 秀克 (49)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論 医療・生命薬学特別研究	専	准教授	徳村 忠一 (55)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	平成24年4月 横山秀克准教授急逝(24)
					専	准教授	榑原 巖 (54)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	平成25年3月31日徳村忠一准教授辞任、榑原准教授が講義を担当、専任教員公休中(25) 平成24年度より教育内容を精査・調整し、科目内において担当者を変更(24)
										「後任未定」履修希望者がいなかったため未開講(24)
専	准教授	ゴトウ サトル 後藤 了 (47)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	専	教授	尾能 満智子 (61)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	平成24年3月 後藤了准教授辞任のため 平成24年度より教育内容を精査・調整し、科目内において担当者を変更(24)
					専	教授	渡邊 敏子 (58)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	
専	准教授	ツジ ミノル 辻 稔 (41)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論 緩和医療薬学特論 医療・生命薬学特別研究						
専	講師	シミズ タカヒサ 清水 貴壽 (45)	<平成24年4月>	毒性学特論 応用薬学総合特論						
専	講師	カノウ ヒデアキ 加藤 英明 (40)	<平成24年4月>	毒性学特論 応用薬学総合特論						
専	講師	マノ ヤスナリ 真野 泰成 (38)	<平成24年4月>	応用薬学総合特論 臨床病院特別研修 臨床保険薬局特別研修						



兼任	教授	カメグチ ケンジ 亀口 憲治 (64)	<平成24年4月>	臨床心理学特論						
兼任	教授	モリ イチロウ 森 一郎 (60)	<平成24年4月>	人体病理学特論						
兼任	教授	スマガキ ケイ 沼崎 啓 (57)	<平成24年4月>	臨床薬物治療学特論						
兼任	教授	スズキ ユタカ 鈴木 裕 (52)	<平成24年4月>	臨床毒理学特論						
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (51)	<平成24年4月>	英語論文執筆特論 臨床薬物治療学特論						履修希望者がいなかったため未開講(25)
兼任	教授	ミザオ ハナコ 操 華子 (48)	<平成24年4月>	臨床薬物治療学特論	兼任	講師	操 華子(50)	<平成25年4月>	臨床薬物治療学特論	平成25年3月31日操華子教授解任 非常勤講師として科目を担当(25)
兼任	講師	フジイ トシヤ 藤井 聡也 (48)	<平成24年4月>	医学研究情報特論						
兼任	講師	ナカヤマテルユキ 中山 晃志 (39)	<平成24年4月>	統計学特論(基礎)						
兼任	講師	オオハシ ヤスオ 大橋 靖雄 (58)	<平成24年4月>	統計解析学特論(実践)	兼任	教授	藤 俊彦 (61)	<平成25年4月>	統計解析学特論 (実践)	担当教授が就任したため(25)
兼任	講師	マツザワカズマサ 松澤 和正 (54)	<平成24年4月>	質的研究法特論						
兼任	講師	ワタナベヒロユキ 渡邊 裕之 (46)	<平成24年4月>	統計解析学特論(実践)	兼任	教授	藤 俊彦 (61)	<平成25年4月>	統計解析学特論 (実践)	担当教授が就任したため(25)

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
13	3	16	11	2	13	65	0
(13)	(3)	(16)	[Δ2]	[Δ1]	[Δ3]	歳	名

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	後藤 了	自己都合退職したため。(24)
2	准教授	横山 秀克	当該教員の急逝のため。(24)
3	教授	太田 恵一郎	自己都合退職したため (25)
4	准教授	徳村 忠一	自己都合退職したため (25)

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

やむを得ない理由による退職であると判断した。死亡、退職の教員担当の科目は、審査を受けた他の教員が教育を行うため、支障は生じない。学生には掲示、オリエンテーション及び履修の手引き（学生便覧）への掲載等により周知した。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成23年10月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 医療・生命薬学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	1～6の項目以外に、特記すべき変更や法令適合性に関して生じた留意すべき事項は無い

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学FD委員会規程を添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月1回 各専攻主任が集まって開催（専攻主任会議）、分野責任者が集まる代表者会議開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 アカデミックハラスメントについて、論文審査について、e-learning授業について 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 昨年度はFDを8/3に開催して、本大学院の人材養成の目的と方法について、各分野から発表し、パネルディスカッションを行った。 ・ また本大学院の修了生に対してアンケートを行い、教育の内容や成果についての検証をおこなった。 ・ 今年度も8月上旬にFDを開催する予定で、委員会を組織して内容検討中。</p> <p>b 実施方法 遠隔テレビ会議システムを使用したプレゼンテーション及び質疑応答</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 平成21年7月22日開催 214名中89名出席、平成22年7月28日開催 222名中88名出席 平成23年7月27日開催 294名中98名出席、平成24年8月3日開催 221名中99名出席</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 FDの開催について参加者アンケートを実施し、結果をフィードバックする。 今後の研究指導や論文審査の方法等の見直しを図る。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 昨年12月から1月にかけて院生アンケートを実施。（自己評価の項目として取りまとめて公表予定）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 結果を冊子にまとめて大学院に設置するとともに、ホームページで公開する予定。</p>
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
昨年研究科を開設し教育活動を進めてきたが、高度な知識・技術・経験を備えた専門性の高い薬剤師の養成という目的を十分に満たした教育内容と考えている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・平成24年9月5日 公表
- b 公表方法
・大学院ホームページ上で公開済み。
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成26年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成25年7月1日)

国際医療福祉大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学の学部ごと又は複数学部にまたがってFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD（ファカルティ・ディベロプメント）に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあってはセンターの専任教員
 - 二 学長が必要と認めた者
- 2 前項第一号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 第1項第二号の委員の任期は、学長が必要と認める期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(委員会の成立)

第5条 委員会は、半数以上の委員の出席により成立する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(事務処理)

第7条 委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課の長が取り扱う。

(雑則)

第8条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。